

フランス人が挑んだ新版画



「打ち明け話の相手」連作「満州宮廷の王女たち」より「連珠殿（前期）」
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 E15060

Paul Jacoulet

ポール・ジャクレー

2023年6月3日(土) - 7月26日(水)

●前期：6月3日(土)～6月28日(水) ●後期：7月1日(土)～7月26日(水) 前後期で全点展示替え



【特別協力】稲垣=ジャクレー・テレス、富田聖三、猿渡紀代子 【開館時間】10時30分～17時30分(入館17時まで)
【休館日】月曜日(7/17は開館)、6月29日、30日、7月18日 【入館料】一般1000円 大高生700円 中学生以下無料
【リピーター割引】会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引(他の割引との併用不可)

太田記念美術館
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

世界の人たちから、色彩があふれ出す



1

1_「貝を持つファララップの女」(後期) / 2_「オロール島の少年、東カロリン」(前期) / 3_「太平洋の神秘、南洋」(前期) / 4_「北風、韓国」(後期) / 5_「清馨さん」(前期) / 6_「真珠、満州」(前期) / 7_「オウム貝、ヤップ島」(後期)

※いずれも遺族蔵

©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 E5060



2



3



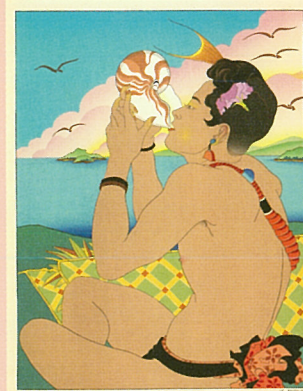
4



5



6



7

フランス・パリに生まれたポール・ジャクレー(1896~1960)は、3歳の時に来日し、64歳で亡くなるまで日本で暮らしました。10代の頃、月岡芳年の孫弟子にあたる池田輝方・蕉園夫妻から日本画を学び、喜多川歌麿風の肉筆美人画を制作。30代前半、サイパン島やヤップ島といったミクロネシアの島々を頻繁に訪れ、島民たちの姿を水彩画で描きました。

昭和9年(1934)、38歳の頃から、摺師や彫師の協力を得て、南洋、そして、日本、朝鮮、中国といったアジアの人々を描いた木版画を続々と刊行します。昭和前期は、絵師、彫師、摺師の協同

作業によって新たな芸術表現を目指す「新版画」が盛んとなった時期でしたが、さまざまな国の老若男女が暮らす姿を鮮やかな色彩で描いたジャクレーの作品は、数ある新版画の中で唯一無二の存在感を放っています。

本展覧会は、ポール・ジャクレーが手がけた新版画、全162点(前・後期で全点展示替え)を紹介する、首都圏では初めての試みです。江戸の浮世絵を愛したジャクレーが昭和の時代に挑んだ、新しい木版画の世界をお楽しみください。

【問合せ】050-5541-8600(ハローダイヤル)

【公式サイト】<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> 【公式Twitterアカウント】[twitter@ukiyoeota](https://twitter.com/ukiyoeota)

【アクセス】東京都渋谷区神宮前1-10-10

JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

学芸員によるスライド・トーク

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

●6月13日(火)・21日(水) ●7月7日(金)・13日(木)・19日(水) ●11時~(約30分) 定員50名

当日10時30分より美術館受付にて整理券を配布します。聴講には本展の当日入場券と整理券が必要です。

整理券は展覧会にご入場の方1名につき1枚まで。



太田記念美術館
OTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

予告なく予定を変更することがあります。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。